

# 親子聖書日課

NO.1418 2015.11/29-12/5 名前

[日]口数の多い時は弁解している時です。一生懸命、自己正当化します。神は弁解など聞きたくありません。「言葉数を少なくせよ」沈黙して、主のみ声を聴くことです。なぜなら、私達の心を全てご存知の主が、慰めの言葉を与えて下さいます。

[月]「自分よりも強いもの」とは、死です。死は一瞬にして人を土の塵にする恐るべき最後の敵です。しかし、安心して下さい。主イエスは復活してその死に勝利して下さいました。主を信じるなら、「短く、空しい人生の日々」ではありません。

[火]人生は良い時も悪い時もあります。「順境には楽しみ、逆境にはこう考えよ」とは、良い時には幸いを主に感謝し、悪い時には自分の生き方が御心に適っていたか、悔い改めることです。全ては主の御手にあります。御声を聴きましょう。

[水]未来を知ることができれば、災いを回避できると思うでしょうが、未来が隠されていることは、恵みです。自分の命は明日までと知らされたら、生きことは辛いです。「何事にもふさわしい時がある」とは、主が一步一步を備えて下さるからです。

[木]力ある者が人生の勝利者になるとは限りません。ウサギに勝ったカメのように、遅くても、わき目もふらず、主だけを見上げて歩むなら、人生の勝利者になれます。主の力は弱い人にこそ働いて、救いを与えて下さいます。世に勝つ力は信仰！

[金]「患者は口数が多い」とは、他人事ではありません。神に対して空しい言葉を繰り返す人は、神に言葉を聴きません。人に対して弁解や自慢を繰り返す人は、対話を閉ざします。口数を少なくして、聴きましょう。豊かな交わりが生まれます。



[土]私達は沢山のチラシを配りますが、教会に来る人は少ないです。それは「パンを水に浮かべて流す」ようで、全く無駄に見えるかもしれません。しかし、いつの日か救霊の実を結ぶ時がきます。この言葉を信じて、伝道の業に励みましょう。

	聖書	問題	答え
日	コヘレト 5:1-19	言葉数をどうする必要がありますか。	
月	6:1-12	自分よりもどんなものを訴えることはできませんか。	
火	7:1-29	順境には楽しみ、逆境にはどうすべきですか	
水	8:1-17	何事にも、どんな時がありますか。	
木	9:1-18	足の速い者が競争に、強い者が戦いにどうするとは言えないですか	
金	10:1-20	患者は口数がどうですか。	
土	11:1-10	何を水に浮かべて流すがよいですか。	
感想と祈りの課題			